

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

JAN 2026

年4回WEB発行(1, 4, 7, 10月)

審判委員会トップページへはこちらから →



新年のご挨拶

(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会 委員長 堀川栄多

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、本県サッカー界の発展ならびに審判活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。ジュニアからシニアに至るまで幅広いカテゴリーに渡り公式戦、各種大会、レクリエーションの試合に至るまで、日々現場に立ち続けてくださった審判員の皆さん、審判活動を支えてくださった指導者、関係者の皆さんに、審判委員会を代表して深く感謝申し上げます。

本県のサッカーは、プロを頂点とするトップカテゴリーだけでなく、地元に根ざした活動によって支えられています。しかしながら近年、少子化の進行により、選手数の減少やチーム編成の難しさが各カテゴリーで顕在化しています。これは選手や指導者のみならず、審判員の発掘・育成・強化にも大きな影響を及ぼしており、審判員不足や高齢化は本県における喫緊の課題の一つとなっています。

恒常に限られた人数で試合日程を支えていることにくわえて、酷暑下の試合を回避するために試合の開催時期が重複し、遠方の会場や早朝、夜間の活動を余儀なくされているのが現状です。

そのような厳しい環境の中にあっても、審判員の皆さんのが互いに協力し合い、遠方の会場や厳しい気象条件の下でも試合を成立させていただいていることに、改めて深い敬意を表します。一試合一試合を大切にして、千葉のサッカーを止めないという強い責任感と使命感こそが、本県サッカーを支える大きな力となっています。

また、競技レベルの向上や試合スピードの高速化、ルール改正への対応など、審判に求められる役割は年々高度化しています。加えて育成年代においては、単なる規則の適用だけでなく、教育的配慮やリスペクトの精神を体現する姿勢が強く求められているように感じます。こうした外圧の中で、経験豊富な審判員が若手審判員を支え、知識や経験を次世代へつないでいくことは、今後ますます重要となっていくと考えています。

(次ページに続く)

目 次

審判委員長 新年のご挨拶	P1～2	フットサル更新講習会・4級新規取得講習会・ 昇級審査のお知らせ	P21～23
全国高校サッカー選手権大会決勝	P2～6	地域で頑張っています！ ～船橋市審判委員会 実技研修～	P24～26
全日本フットサル選手権大会決勝	P6～9	永年表彰者募集のお知らせ	P26～27
U-12ガールズサッカー選手権大会決勝 全日本U-12サッカー選手権大会決勝	P9～13	2025年度の審判資格更新について	P27
昇級審査合格者のお知らせ	P14～17	休止・降級の方法について	P28
サッカー更新講習会・4級新規取得講習会・ 昇級審査のお知らせ	P18～20	編集後記	P29

本年度、審判委員会では、審判技術の向上に加え、少子化・審判員不足を見据えた持続可能な体制づくりを重点的に取り組んでまいります。具体的には、新規審判員が参加しやすい講習会や研修の充実、女性やユース年代の発掘、経験豊富な審判指導者によるフォローバック体制の強化などを進めていきます。そしてミスを責めるのではなく、上手くいかなかったことを次の成長へつなげる前向きな雰囲気を県内全体で共有していきたいと考えています。

サッカーは、リスペクトを基盤とするスポーツです。試合の位置付けや注目が高まるにつれ、審判員の一つひとつの判定や言動、立ち居振る舞いは、選手や指導者、保護者、観客に強い影響を与えます。私たち審判員がフェアプレーの象徴として行動し続けること、競技規則の精神に反する行為があれば厳しく対応することが、健全な競技環境を守り、次世代のサッカー文化を育むことにつながるものと確信しています。

結びに、本年が本県サッカー界にとって課題を乗り越え、次世代へ向けた新たな一步を踏み出す一年となるよう、審判員の皆さん一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、安心して活動を続けられる環境づくりに、委員会として全力で取り組んでまいります。本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、新春の挨拶いたします。



第104回全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 決勝戦

2025年11月16日(日) 13:10キックオフ フクダ電子アリーナ

流通経済大学付属柏高等学校 2(0-0, 1-1、延長1-0, 0-0)1 専修大学松戸高等学校
R:先立 圭吾氏、AR1:大附 純之介氏、AR2:平野 裕大介氏、4th:長谷川 翼氏(文中敬称略)

入場シーン(以下のリンクをクリックしてご覧下さい)※2026年3月31日まで掲載

※下記リンクをクリックすると「不明なエラーが発生しました」と表示が出ますが、
その後、映像が再生されます。

[入場シーン.mp4](#)

[コントス.mp4](#)

千葉県の代表校を決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 大附 純之介さん、先立 圭吾さん、長谷川 翼さん、平野 裕大さん)

Q : 本日はお疲れ様でした。まずは、決勝を終えた感想をお願いします。

先立 :両チーム持てる力を出し切って全力で戦ってくれたことと、その熱量が相手選手や審判に向かわずに最後までひたむきにプレーに集中してくれたことが何よりです…というは建前で、本音を言えば注目度の高い大会で、勝敗が審判の判定ミスで決まるようにならなくて安心しています。

大附 :試合の成功に微力ながらお力添えできしたこと、そして無事に試合を終えられたことに大変嬉しく思っております。試合は、非常に白熱した良いものとなりましたが、その試合を審判員として関わらせて頂けたことに感謝しております。

平野 :この試合に限った事ではないですが、先ずは主審の先立さんを中心に、審判団として無事に試合を終える事ができて良かったです。

長谷川 :千葉県決勝という大きな舞台に関わることができたことを誇りに思います。とても充実した気持ちです。



主審の先立さん

Q : この試合に向けて様々な準備をしてきたと思いますが、試合前にお勧めのルーティーンなどはありますか？

先立 :試合前日は験担ぎとカーボローディングのために鰻を食べることと、試合前には審判団でくだらない雑談をして適度にリラックスすることが最も重要なルーティーンかもしれません(笑)人それぞれルーティーンやその数は違いますが、ルーティーンに囚われすぎると、もし実行できなかつた時に不安になってしまいます。ですのであまりルーティーンを決めすぎず、心身ともにいつも通り過ごすこ



AR1の大附さん

とが一番大事だと思っています(偉そうに言っていますが私はストレッチやサプリメントを摂取するタイミングなど、とてもルーティーンが多いです笑)。

大附：試合前には、試合のイメージトレーニングを行ったり体をほぐたりしてリラックスすることをしています。また自身の気持ちをコントロールする為に深呼吸したり、音楽を聴いたりすることもしています。決勝の舞台では、試合前は気持ちが高まっていたので、そこをコントロールすることに注力しました。

平野：自分は特にコレと言ったようなものは無いですね。常に平常心でいる事を心掛け試合に臨むようにしている為、特にこれと言ったものは無いです。

長谷川：競技規則や競技会規程の確認、審判用具の点検を実施しています。試合に集中できるように事前の準備を心がけました。

Q : 試合中、判断が難しい場面で心がけていることはありますか？

先立：第一印象・直感を大事にすることと、見えた事実に基づいて素直に判定することです。どうしても角度が悪くて全てが完璧に見えていないこともあります、見えていないのにごまかして「だろう」という推測で判定はしないようになっています。正しい判定に近付けるためにはその「見えない」ができるだけなくさなければならぬので、ベターで満足するのではなく常にベストなポジションを探し続けることを意識しています。例え判定ミスをしてしまったとしてもそれは全て自分の責任です。時には自分の判定がかわいく見えること

もありますが、素直に振り返って次回また同じ失敗をしないよう取り組む姿勢が大事だと感じています。

大附：その時の自分は恐らく、大変焦っていると思います。出来事に対する対応力も皆無です。そんな今の私に出来ることは常に冷静を装って立ち振る舞い、選手の安全に配慮することだけです。

平野：試合中に難しい場面が起らぬ、面倒な事が起きないようひたすら祈りながらやっています。

長谷川：基本は競技規則と「サッカー競技の精神」に立ち返って判断したいです。今回は第4の審判でしたので、主審の援助ができるような情報を手に入れておけるように心がけました。

Q : テレビ放送もあるこの大会だから起こるハプニングや注意した点はありましたか？

先立：ハプニングはありませんが、注意したことは試合がちゃんと最後まで放送枠に入り切ることですね(笑) 今は延長戦までいったので「もしPK戦までいたら大丈夫かな…？」と内心勝手にちょっとだけ心配していました。

大附：基礎基本を大切にして、ひとつひとつの所作を丁寧に行いました。私は元々、基礎基本が出来ていないのでこういつ時だけやろうとすると、大抵ハプニングを起こしてしまう側になつたりします。それだけは避けたいですね！

平野：この試合はLIVE中継だった事もあり、事前に定められたタイムスケジュールの時間には注意しました。

長谷川：テクニカルエリア内を写すカメラマンやカメラのコードが、とつさの自分の動きの邪魔にならないように、事前にテレビスタッフとコミュニケーションを取りました。



Chiba Football Association Rec AR2の平野さん

Q : 審判員として今後更にチャレンジしたいことは?

先立：私は運良く、そしてありがたいことに国内ではトップカテゴリーを担当させていただいているので国内のビッグマッチやカップ戦決勝にチャレンジしていきたいです。とはいっても、自分で決められることではないので、まずは与えられた目の前の一試合一試合を全力で取り組むこと。そしてその積み重ねの先にいつか結果がついてくれば幸いです。あとは自分の知識や経験を県内の審判員に還元していきたいです。

大附：今まで、長所を伸ばすことに比較的注力してきました。しかし、これからは常に自身の課題と向き合い、出来ないことを出来るようにしていきたいです。長所を伸ばすことも大切ですが、短所を克服することも成長していく為には必要不可欠なことだと思います。そういうことにチャレンジしていきたいです。

平野：私は主審よりも副審の方が好きな人間なので、これからは副審をたくさんやらせてもらいたいです。と、言う事で、割り当て担当の方々、よろしくお願ひしますね。

長谷川：2級昇級を目指してスキルアップのための勉強・トレーニングをしていきたいです。また、高校生ユース審判員のサポートをして、一人でも審判員の仲間を増やしていきたいです。

Q : 審判以外の趣味がありましたら教えてください。また、もし審判をしていなかつたら何になっていたと思いますか?

先立：残念ながらトレーニングが趣味という本当に面白くない人間です(笑)

「走る」という行為を突き詰めたく、二年ほど前から陸上中長距離のオリンピック代表選手も在籍する某陸上チームでトレーニングを見ていたといっています。そういう意味では走ることが一番の趣味かもしれません。おかげで年齢を重ねてきましたがフィットネスレベルは落ちることなく年々向上していると感じています(が、まさか大人になってまで喉から血の味がする思いをすることになるとは…笑)。

もし審判をしていなかつたら…とても難しい質問ですが、サッカーは好きなので何か違う形でサッカーに携わっていられたなら幸せです。今ならVARのRO(リプレイオペレーター):VARの横に座りモニターで試合映像を確認しつつ、VARの要求に応じて複数台のカメラ映像の中からチェックに最適な映像をセレクトし、スロー再生やコマ送り再生をして映像による判定のサポートをすることが主な仕事)も面白いかもしれません。

大附：趣味は友人と熱く語ることです。もし審判をしていなかつたら、恐らくつまらない人生になっていたと思います。それくらい、選手と同じレベルに立てることを光栄に思います。

平野：航空機が好きで、俗に言うマニアです。もし審判をやっていなかつたらとの事ですが、自分は趣味を職業にしてしまった様なものなので、変わらず今の仕事をしていると思います。

長谷川：サッカー部の顧問もしていますので、指導者としても日々勉強しております。特にGKの指導を極めようとしていたと思います。



4thの長谷川さん





みなさま、ありがとうございました。

JFA 第31回 全日本フットサル選手権大会 千葉県大会 決勝

2025年11月24日(月・祝)15:00 キックオフ ~千葉県立館山運動公園体育館~

順天堂大学フットサル部 GAZIL/jfc 0-0(PK 3-1) バルドラール浦安セグンド

主審:田口 雄一氏、第2審判:金指 友翔氏、第3審判:綾木 信介氏、タイムキーパー:小川 和則氏(文中敬称略)



(左から3R 綾木氏、2R 金指氏、R 田口氏、TK 小川氏)

△皆さん大変お疲れ様でした！まずは決勝戦を終えて、今の心境をお聞かせください。

田口：今年もこの大会の決勝戦を担当することができ大変嬉しく光栄でした。

大会運営をされたフットサル連盟の皆様、選手の皆様、審判委員会の皆様へ感謝申し上げます。

金指：毎年同じことを言っている気がしますが、試合が無事に終わって一安心です。

綾木：とてもアグレッシブかつクリーンなゲームを繰り広げる両チームと共に試合を作る機会をいただき、非常に光栄に感じると共にこれまでのレフリーとしての取り組みを評価していただいたことに心から感謝の気持ちでいっぱいです。

小川：10年以上前から、毎年、かかわらせて頂いている大会に今年も決勝戦に割り当てて頂き、関係者の方々に感謝しています。

その感謝の気持ちを持って、務めきることができたというのが素直な思いです。

△決勝戦を振り返ってみて、ご自身の取り組みはいかがでしたか。

田口：まだまだヘタクソだなど実感した試合でした。それでもファウルの基準を選手たちは受け入れてくれて、強度が高く、スピードでフットサルの魅力がたくさん詰まった試合になったなと感じています。決勝戦で延長、PKまで突入するほど拮抗した試合になったことは私たちの判定に影響されることなく選手たちが試合に集中できていたのかなと思います。

金指：準決勝の主審割当もいただいておりましたので、決勝に向けて、なるべく疲労を残さないように筋肉をほぐしたり、ストレッチしたりしていました。試合では、40分で決着がつかず、延長戦、PKと続きましたが、最後の最後まで集中を切らさずに取り組むことができました。個人としては、満足しております。

綾木：担当が第三審判でしたので、事前に他試合で第三審判の動きやポジショニングなどを確認し、主審と打ち合わせの上、望まれている役割がこなせるよう準備しました。ピッチの事象を的確に把握しベンチからの疑問、質問にいつでも返せるよう頭の中で言語化したり、ベンチコントロールや判定の補完ができるような動きも求められるので非常に神経を使いましたが、事前準備の成果で大きなトラブルもなく終えることができました。かなり経験値が積めたと思います。しかし、ある意味笛より疲れました。。。笑

小川：たぶん、「これで完璧。」というはないので、その都度、「今の自分にできること」に全力で取り組んだということだけです。うまくいっても、いかなくても。それに決勝戦が終わったといえ、審判を続ける限り、また次の試合があるわけで、それに向けていくしかないと思っています。



△田口さん、金指さんは3年連続でのレフェリーでした。過去2年と比較して心境やレフェリングなど、何か違って感じたものはありましたか。

田口：今年は2級審判員になって初めての決勝担当でした。関係者からはそういう目で見られるだろうなというプレッシャーを感じていましたし、関東リーグを経験して成長した自分を見せたいとも考えていました。

金指：2年前の決勝は2級予備の見極めで、去年の決勝は見極めではなくとも、予備審査の受験中で、選手権決勝といえば常に2級の予備審査を突破できるか否かがかかっている状況でした。しかし、今年は2級に昇級してから初めての決勝だったので、例年よりは心に余裕を持ったまま、試合に取り組むことができました

ね。

△綾木さんは2年ぶりの決勝担当でした。緊張されましたか。

綾木:関東大会進出がすでに決まった上での決勝戦ということで、当初は気楽に考えていたのですが(笑)、この試合に携われるチャンスはとても貴重なことだということを他のレフリーから聞いて臨めたので、緊張50%リラックス50%のとても良い状態で試合に入れました(笑)

△そしてレジェンド小川さん。タイムキーパーとして参加した今年の決勝戦はいかがでしたか。

小川:「レジェンド」と言われると、私なんかよりすごい「レジェンド」はたくさんいるので、恥ずかしいです(苦笑)。

それは、ともかく、フットサルの「延長戦」はなかなかないので、それを体験できたのは大きかったです。タイムキーパーとして、しっかり時間管理することでしたが、途中で一度だけスイッチを押し間違えてしましました。バックアップを取っていたので、何とか無事に再開できました。

△皆さん各々いろいろな思いを持ってこの決勝戦に臨まれたようですね。少し話が変わりますが、

皆さんのフットサルレフェリーとしてのこだわりのアイテムを教えてください。

田口:もう若くないので試合前後に魔法の粉を摂取しています。筋肉にかかる負荷はサッカーレフェリーよりも大きいため、MUSASHI の CHEN と NI を毎回摂取するようになりました。気休めかもしれませんけどね。

金指:レフェリーグッズではないのですが、自分はよく試合の合間にラムネを摂取します。割り当ての場では、甘いものを常に欲しているので、会場の近くのコンビニで購入して、よく持参しています。

綾木:笛を持つ際に使う「グリップ」でしょうか。中指,薬指でグリップ、親指,人差し指で笛を持つのですが、口元に運ぶ際も持ち替える際も非常にやりやすく、かなり気に入っています。

小川:「シューズ」ですね。今年から「白」を履くようにしました。「白」っていいときはいいけど、悪いときはめちゃめちゃイメージが悪くなる色なので、自分自身を引き締める上でも、今年変えてよかったです。

△もうすぐフットサルも県内のシーズンが終わります。今期の振り返りと来シーズンに向けた意気込みをお願いいたします。

田口:2級審判員として県内のみにならず関東やFリーグなど、活動の幅が非常に広くなったことでフットサルレフェリーとして大変有意義に過ごすことができました。

今は自分の将来のために時間も努力も惜しまず本気でフットサルレフェリーに取り組んでいます。来シーズンどれほど千葉県のフットサルに関われるかはわかりませんが、勝負のシーズンと位置付けて突き抜けていきたいなと思います。

金指:今年は関東協会からの割り当てをコンスタントにいただけることができたので、2級昇級後は千葉県リーグの試合を担当する機会がほぼありませんでした。

来シーズンこそは、関東で得た経験や学びを千葉県リーグの場で活かしたく思います。来年も何卒よろしくお願いいたします。

綾木:まずは、チーム関係者及び選手の皆様、日頃よりレフェリングにご協力いただきありがとうございます。

今期は家庭の事情もあり以前ほどの頻度で試合を担当することができませんでしたが、その分1試合1プレーにより全力で臨む濃いシーズンが送れたと思います。来期はこれをスタンダードとして、よりよいレフェリングで皆様に「あなたが担当で良かった」と思っていただけるよう精進しますので、ぜひ引き続き応援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

小川:毎シーズン、毎試合、後悔ばかりです。でも、それでも審判を続ける限り、割り当てられることが終わらない限り、目の前の試合に、しっかり務めていきたいと思っています。

フットサルレフェリーの皆さん、ありがとうございました！



第7回千葉県U12 ガールズサッカー選手権大会
JFA 第49回全日本U-12 サッカー選手権大会 千葉県
大会

両大会の決勝戦にユース審判員が活躍

昨年に続き、全日本 U-12 サッカー選手権大会の千葉県予選決勝戦をユース審判員が担当する事に加えて、今年は前段で行われた U-12 ガールズ選手権の決勝戦もユース審判員が担当しました。

決勝戦は白井運動公園陸上競技場で女子が 10 時から、男子は 13 時から行われ、女子の試合は藤田愛衣さんと藤田葵衣さん(姉妹)、男子の試合は川島悠人さんと舟川湊恭さんが担当し、素晴らしいレフェリングで熱い試合をコントロールしました。その様子を紹介します。





(向かって左から、藤田葵衣さん、藤田愛衣さん、舟川湊恭さん、川島悠人さん)



担当審判員のコメント

主審：藤田 愛衣(ふじた あい)



今までたくさん審判経験を積んできましたが、決勝の主審を任されるのは初めてで、大きな緊張と責任を感じました。さらに一人審判だったため、いつも以上に集中して試合に臨みました。激しい攻防の中で位置が悪く見えにくい場面もあり、最後のPK戦ではやり方を間違えるなど失敗もありましたが、それでも最後まで自分を信じてジャッジし続けることができました。

今回の経験は大きな学びとなり、これからも審判活動を頑張っていきたいと強く感じました。

補助審判：藤田 葵衣(ふじた あおい)

今回、決勝という重大な試合で補助審判を務めさせてもらいました。

審判としての経験はありますが、決勝の補助審判は初めてで、これまで以上に集中力が求められました。特に、選手の動きや試合の流れを的確に捉え、主審の判断を支えるための情報を適切なタイミングで示すことの重要性を強く感じました。それでも、この最高

の舞台に審判団の一員として関わったことは大きな励みになりました。

今回の経験を今後にしっかりと生かしていきたいです。

主審：川島 悠人(かわしま ゆうと)

千葉県ユース審判員の川島悠人です。堀川委員長をはじめ、育成部や4種委員会のご支援を受けて貴重な体験をさせていただいたことに深く感謝申し上げます。

先日行われた関東ユース研修に参加させていただき、全国への派遣が決まりました。また、千葉県予選決勝の主審を務めさせていただきました。この大会は1人審判制ならではの難しいところが多くありますが、その課題を解決できるようにポジションの優先順位を考えて全国大会に挑みたいです。

最後にこの場を借りて2級審判員に昇級させていただいたことをご報告させていただきます。今までご指導やチャンスをくださったアカデミー、育成部、強化部、高体連、高校の顧問、協会の方々、心より感謝申し上げます。

まだまだ未熟な自分ですが、あぐらをかいたり、調子に乗ったり、天狗になつたりしないで目の前の課題と向き合って今後の審判活動をしていきます。これからもご協力、ご指導よろしくお願いします。



補助審判：舟川 渥恭(ふなかわ そうすけ)

この度は、4種委員会の方々ならびに育成部の皆様のご協力のもと、素晴らしい大会に参加させていただきました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

私は高校一年生で経験が浅く、未熟な点も多いのですが、今回の大会では様々な方々のレフェリングを間近で見ることができ、大変勉強になりました。来年は主審として決勝のピッチに立てるよう、今後も精進してまいります。

千葉県代表の柏レイソル A.A. TOR'82 の皆様の益々のご活躍をお祈りするとともに、重ねて関係機関の皆様に感謝申し上げます。またどこかでお会いした際には、お声をかけていただけると嬉しいです。



【動画】※2026年3月31日まで掲載(リンクをクリック)

※下記リンクをクリックすると「不明なエラーが発生しました」と表示が出ますが、その後、映像が再生されます。

[U-12 ガールズ選手権入場シーン.MOV](#)

[U-12 選手権決勝入場シーン.MOV](#)

[U-12 選手権決勝試合前.MOV](#)

決勝戦の様子





お疲れ様でした。今後の活躍を期待します。

昇級おめでとうございます！

昇級審査合格者のお知らせ

【サッカー2級】(順不同、敬称略)

川島 悠人 兵頭 悠太郎 松浦 聖英 渡辺 香雫

【サッカー3級】(順不同、敬称略)

審判委員会主催:65名

相澤 尚宏	秋葉 実	阿部 健吾	阿部 朋広	阿部 康雄	飯塚 堯
石井 智樹	石塚 康弘	一木 大輔	伊藤 勇輝	今関 貴繼	岩堀 湊
遠藤 和博	大嶋 啓伍	岡本 卓也	岡本 奈津美	小栗山 友仁	川口 俊輔
川崎 圭	川端 恭一郎	川畑 功介	菅野 直樹	岸野 直樹	北嶋 叶太
木村 貴司	國島 俊樹	熊谷 健	栗原 凌	小山 淳	榎原 伊織
佐藤 清隆	佐藤 大輔	芝野 一汰	白石 啓一郎	菅沼 俊輔	鈴木 明輝
鈴木 優良	高澤 浩大	高田 浩二	高橋 勝美	多賀 敦也	田坂 恵佑
田島 英明	田中 邦彦	塚下 大輔	天水 晶人	戸田 凌介	仲丸 拓杜
永江 淳	長瀬 勝宣	丹羽 啓輔	橋本 諭	半澤 列	平野 混大
平野 俊一	廣瀬 拓夢	藤平 晃司	松田 弘	水島 寿	武藤 暖人
森 幸太	八色 祐希	山澤 陸	山手 実	吉澤 隆介	

4種委員会主催:56名

青木 駿祐	天野 崇	有川 徹	有賀 徹生	今中 大輔	岩佐 亮一
白井 一輝	江口 大輔	大久保 直輝	大久保 陸驅	岡本 裕介	小笠原 哲
鬼塚 翔	片山 俊	桂 喜良	菅野 隆都	久保田 竜	栗木 勝
高野 直樹	小賀坂 神音	齋藤 英治	齋藤 義雄	佐藤 桂輔	篠塚 百里
柴田 三成	寫田 廉郎	関 祐輔	関口 雄彦	竹島 昂太	田中 讓二
玉造 和彦	中谷 行希	中林 朋典	檜山 彰人	新沼 裕也	長谷川 佐和子
長谷川 大詞	長谷川 祐作	波多野 圭	久田 英明	平田 智大	福田 健
星野 悠太	堀 雄一郎	的場 優介	三上 克己	緑川 大地	村山 直樹
森 喜樹	安田 匠	築取 大雅	山内 武士	山崎 宗助	横山 裕紀
吉武 友樹	渡辺 貴也				



【サッカー2級昇級者よりコメント】

川島 悠人(かわしま ゆうと)

この度、2級審判員として活動させていただくことになりました。川島悠人と申します。

昇級するにあたり千葉県サッカー協会審判委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。

私が審判を始めた理由は、正確にはいくつかあるのですが、1つ挙げるとしたら公然と笛を吹いても問題ない立場が審判だったからです。交通整理の方が向いていそうな理由ですが、そこから4級を取り、高校の帯同で総体の副審をした際に、アカデミーの河合先生が主審で組ませてもらい「3級取ってみないか！？」と声をかけてもらったのが自分の本格的な審判のスタートだと思います。

3級を取る前や取った後に、関東や全国の研修に行くチャンスをいただきました。全国の同級生の2級や3級と研修を受けた際にいい刺激をもらい、2級を目指す強い気持ちが生まれてきました。プレーヤーとしてもサッカーをしており、本当ならなかなか審判活動できない中、顧問の先生が協力してくださり、試合にも出ながら審判活動もさせていただきました。

そのおかげで、土日に割り当てを受けたり、育成部の研修や

協会のおかげでレベルの高い試合やアカデミーからの指導を通して2級を目指すことができました。ありがとうございます。

2級として勉強する権利を得ただけで、2級になったからって自分のレフェリングが自然と上手くなるわけじゃないので努力を怠らずに上を目指したいと考えています。高校生から大学生に上がるのも2級に上がるのも共に責任が重くなりますが、試合で得た課題に向き合って審判をしていきたいです。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。



向かって一番左が川島氏



兵頭 悠太郎(ひょうどう ゆうたろう)

この度、2級審判員として活動させていただくことになりました、兵頭悠太郎と申します。

私は大学までサッカー選手として活動をしてきて、この後は上にいけないと思った時、それでもJなどのプロのピッチに立ちたいと思い、方法を探しレフェリーになり上を目指そうと思いました。

プロのピッチに立ちたいと思い、そのためには2級などの上の級を取る必要があり目指しました。たくさんの試合を担当させていただき、多くの経験を積み、日々の競技規則の勉強も行いました。

これからも1試合1試合、目の前の試合に全力を尽くし、最善の判断や判定を下せるよう精進し、更に上を目指す上で、日々の努力も欠かさず継続して行ってきます！会場で組んだ際には気軽に話してください！

今後ともよろしくお願ひいたします。



松浦 聖英(まつうら しょうえい)

この度2級審判員として活動させていただくことになりました。松浦聖英と申します。

昇級するにあたりこれまでご指導いただきました千葉県サッカー協会審判委員会の皆様、ユース研修の指導者の皆様に心より感謝申し上げます。

私が審判を目指そうと思ったきっかけは中学生の頃、顧問の先生に勧められて資格を取得したことがきっかけです。その後、自分が所属していた小学生のサッカークラブで活動させていただく内に審判の面白さや楽しさを感じ、より高いレベルのピッチで審判をしたい！と思い3級を取得し、2級審判員を目指そうと考えました。

今後もお世話になった方や、関わる全ての方への感謝の気持ちを忘れずに楽しく審判活動を行なっていきたいです。今後ともご指導の程よろしくお願ひ致します。

渡辺 香雫(わたなべ かんな)

この度2級に昇級いたしました、渡辺香雫と申します。昇級にあたりご指導いただきました皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

私が審判活動を始めたきっかけはJリーグが大好きだったからです。憧れの舞台に直接的に貢献したい、そして自分もその舞台に立ちたいと思ったのが最も初めのきっかけにあたります。2級の方々は、レフェリング、ピッチ外の部分など、どこを取っても素晴らしい、そんな先輩方の姿に審判を始めた当初から憧れを抱いていました。自分もそんな風になりたいと思い、またやるからには上を目指したいという気持ちがあり、2級の昇級を目指しました。

大学生になってからは、脚部の筋力トレーニングを取り入れ、体力トレーニングだけでなくスプリントの強化に重きを置くようになりました。

昇級は通過点のひとつに過ぎないので、審判を通じて出会えた全ての人々への感謝の気持ちを忘れず努力し続けて参ります。



【サッカー3級昇級者よりコメント】

丹羽 啓輔(にわ けいすけ)

この度、3級審判員として活動させていただくことになりました、丹羽と申します。

2015年に千葉県へ転居し、当時小学2年生だった長男がF.C.浦安ブルーウィングスに入団したことをきっかけに、チーム活動に関わるようになりました。その中で審判としての活動も始まり、これまで多くの試合を経験してきました。

3級昇級を志したのは、ルールをより深く学び、それを実戦でどう適用・判断するかという楽しみを感じたからです。試合の中で双方がフェアプレーを貫き、選手やベンチから「ありがとうございました！」と声をかけてもらえたとき、審判としてのやりがいと信頼の重みを強く感じました。

今後も「安全」「信頼」「共に楽しむ」を大切に、笛を吹く回数が少なくても成立するフェアでエキサイティングな試合づくりに努めてまいります。





川畑 功介(かわばた こうすけ)

この度、5年振り4回目の昇級審査に挑戦して2度目の合格する事が出来ました。審判活動を始めたのは多くの方と同じく、少年団のお父さんコーチになつたのがきっかけです。

3級を目指したのは、1度目は市内の社会人リーグで審判をしてみたかったのが理由です。2度目は仕事が多忙で審判活動もおろそかになり、JFAラーニングも期限を忘れるというミスで審判資格を失効してしまいましたが、転職を機にもう一度上のカテゴリーを目指したいと思い受験しました。

先輩レフェリーで50歳を過ぎてから2級に合格したという方から話を聞き「まだ40代なら大丈夫だよ！」と励まされ、諦めずにチャレンジしようと思いました。長男が通っていた中学校サッカーチームの先生に紹介して頂いて、中学や高校の試合でも審判をする機会をもらい毎回、反省と「次はこうしよう」と試行錯誤しています。

審判委員会の方々にはお忙しい中でZOOM研修や実技講習、昇級審査を開催して頂き感謝申し上げます。今一度、体を鍛え直して経験を積み、50歳までに2級のワッペンを付けられるように努力していきたいと思います。



仲丸 拓杜(なかまる たくと)

私が審判活動を始めたきっかけは、自分がジュニアユースの選手時代から審判には興味があり、競技規則を読むようになってから試合に出場した時に、これは誤審では無いか？と思う場面が多くありました。その時に自分が審判だったらこんなジャッジを下すのにな！と思うような回数が増え自分が審判になって少しでもサッカーという競技を審判というサッカーの関わり方でより良いものにしようと思い活動を始めました。

審判をやっていくうちに難しい判定や今のユース世代の審判事情などが分かっていき、上の級を取ることでよりサッカーの考え方方が変わるのでないと思い3級取得を目指しました。

今年の抱負は、サッカーに関わる全ての人にレフェリーというものに関心を持ってもらうことです。よろしくお願ひします。

山手 実(やまと みのる)

「新3級」としてコメントを書くよう言われましたが、実は3級取得は2度目となります。しかも今回は60歳での取得となりました！

訳あって3級を失効しましたが、60歳になっても審判を続けていきたいという気持ちがありました。ただ、失効のため4級の取得からとなります。いつそこのまま辞めてしまおうとも考えましたが何とか奮起し、今年の4月に4級を再取得、半年後の10月に3級昇級テストに臨みました。

結果、競技規則テスト、体力テストとも問題なくクリアし、何とか3級に返り咲きました！特に懸念だった体力テストのインターバル走(75mランニング25秒-25mウォーキング30秒を連続20本)も意外に楽にクリアできました。

今回は昇級をモチベーションに、第1章から競技規則を改めて深く読み返しました。もし失効しておらず、そのままレフェリーをしていたら見逃していたかもしれないことも再確認でき、とても有意義な機会だったと思います。また、審判仲間の応援、協力も、大きな力となりました。今後も体力の続く限り審判活動をしていこう思います！

おめでとうございます！

今後のご活躍を期待いたします！！



2025 年度更新講習会のお知らせ(サッカー)

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

千葉県サッカー協会では、サッカー3級・4級審判員の資格更新はインターネットに接続して行うJFA ラーニングでの更新を推奨しています。

ここでお知らせする講習会は、インターネット環境が整っていない審判員を対象に、次のとおり対面式の講習会を開催します。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべて KICK OFF (JFA のページ) から行ってください。

なお、会場に駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

4級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2026年1月17日 (土)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般¥6,100 ユース ¥1,550
2026年2月22日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般¥6,100 ユース ¥1,550

3級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2026年1月17日 (土)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般¥6,900 ユース ¥2,050
2026年2月22日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	スポーツ科学センター第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般¥6,900 ユース ¥2,050

2級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
2026年1月25日 (日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	スポーツ科学センター第2・3研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	50人	有り	一般 ¥14,600



2026年度サッカー4級審判員新規取得講習会のお知らせ

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

次のとおり講習会を開催しますので、詳しくは審判委員会 ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべて KICK OFF (JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

●サッカー4級審判新規取得講習会●

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人員	駐車場	講習会費
2026年1月18日(日)	9:30~10:00	10:00~16:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,200 ユース ¥1,550
2026年3月1日(日)	9:30~10:00	10:00~16:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,200 ユース ¥1,550
2026年3月8日(日)	9:30~10:00	10:00~16:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,200 ユース ¥1,550
2026年3月22日(日)	9:30~10:00	10:00~16:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,200 ユース ¥1,550



2026年度第1回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ

開催期日 2026年4月野田市総合公園(陸上競技場)で調整中

1 受験資格

(1)2026年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)4級審判員として登録していること。

※申込み時に15歳以下の者が審査に参加する場合は、親権者の同意が必要。

(2)2027年度に向けた4級更新講習会(JFA ラーニング含む)への受講がないこと。(更新手続きのみを含む)

(3)3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判派遣に積極的に従事する意思があること。

※上記の意思が確認できない場合、2次審査の参加を認めない。

(4)次の審判実績のいずれかがあること。

① サッカー4級審判員として5試合以上の実績があること。

(ア)5試合以上の実績のうち、主審が1試合/副審が1試合以上であること。

(イ)4種の試合(8人制含む)は、1日2試合までを限度に審判実績として計上できる。

※例として、同じ日に4試合主審を担当しても、審判実績は2試合分だけしか認めない。

(ウ)フットサルおよびビーチサッカーの審判実績は計上できない。

② 頗著なサッカー歴を有している者。

※本項目については、千葉県協会が判断する。

(5)その他

① この審査を受験する1年以内に健康診断を受け、審判活動に支障がないこと。

※職場、学校等の健康診断を含む。健康診断を受けていない場合、2次審査の参加を認めない。

② 受験者は、審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

③ 3級審判員に昇級後の審判活動に従事中の事故については、千葉県協会が加入する審判障害保険の範囲内で補償されるが、各自でスポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

2 審査基準

(1)千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2)1次審査(書類審査)

次に掲げる書類を提出すること。

① 参加申込書(1次審査書類)に必要事項を記載。

※審判委員会ホームページの様式集(昇級審査の申込用紙)から「サッカー3級」の申込書を選び使用すること。また、記入例を必ず読むこと。

② 審判実績確認:レフェリーズダイアリーまたはレフェリーノートの審判記録のコピー提出(メール又は郵送)による。

(3)2次審査(筆記試験および体力試験)

1次審査合格者に対して、次の審査を実施する。

ア 開催期日 2026年4月 野田市総合公園(陸上競技場)で調整中

イ 筆記試験 競技規則に関するもの。合格基準 80点以上。

ウ 体力試験 75m走(25秒)-50m歩(30秒)×20本

エ 講義 合格者に3級審判員として必要な講義を実施する。

※詳細が決定し次第、KICKOFFに掲載します。



2026年度 フットサル4級審判新規取得＆各種講習会の お知らせ

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2026年3/1 (日)	9:30～10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学 センター 3.4.研修室	千葉市 モノレール スポーツセン ター駅	50人	有り	一般 ¥8,300 ユース ¥2,650

フットサル3、4級審判員 更新研修会

今年度はWebのJFAラーニングでの更新しか設定がございません。**JFAラーニングはどの級も申込締切を2月18(水)**としておりますので、手続きを早めにお願いいたします。

フットサル3級審判昇級試験、フットサル2級予備試験

2026年4月か5月(日程と会場が未定の為)

※詳細は決まり次第Webの方に詳細をアップいたします。

2026年度 第1回 フットサル2級審判員推薦審査の お知らせ

この推薦予備試験は2026年10月(予定)に行われる(一社)関東サッカー協会(以下「関東協会」)2級昇級試験のための予備テストです。

フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

(1) 受験資格：2026年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)サッカー3級審判員として登録していること。

(2) 次の審判実績を有していること

①フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。

※ 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものと計算する。

②サッカー2級審判員

(3) 健康など

①認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)

②スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や関東協会、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

● 第1次審査；書類審査

- ① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
- ② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出

審判委員会サイト <https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>へ

● 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

・2026年4月予定

・筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上

・体力試験

- ① Speed2×20Recovery90秒 男子 3.60 女子 3.90
- ② CODA 男子 10.30 秒 女子 11.30 秒
- ③ ALIET 男子 Level14-5/885 女子 13-6/390

・講義『2次審査合否発表後』

合格者に第三次審査の説明を実施する

・ 第3次審査；2次審査合格者に対して、実技審査を実施。

3試合実施する。

3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

4. 申込方法

① Webでの申込手続きを完了させてください。

推薦審査(F2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES' DIARYまたはFUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申込みをしてください。

② 受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

2026年度 第1回 フットサル3級審判員昇級認定審査の お知らせ

2026年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2026年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー(以下「千葉県協会」)3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること
 - ①フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。
経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。
 - ②サッカー3級審判員。

(3) 健康など

- ①認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
- ②スポーツ傷害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

● 第1次審査；書類審査

- ①審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。
- ②昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出

審判委員会サイト <https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>へ

●第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

・2026年4月予定

・筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上

・体力試験

①Speed 2×20 (Recovery90秒) 男子 3.70秒 女子 4.00秒

②CODA 男子 10.40秒 女子 11.40秒

③ALIET 男子 14-2/780 女子 13-3/300

・講義(合否発表後)

合格者に3級審判員として必要な説明を実施する

後日、新3級審判員講習会を実施する(実技及び講義)

4. 申込方法

- ①Webでの申込手続きを完了させてください。

昇級認定審査(F3)申込書と、審判証(現在)の顔写真側のコピー、審判実績 15 試合分以上の REFEREE DIARY または FUTSAL REFEREE NOTE 審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。

- ②受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。





今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2025年11月23日(日)

船橋市審判委員会主催 実技研修会
～船橋市立 薩円台小学校～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は船橋市内の4種の試合で活動されている審判の方を対象に行われた実技研修会に参加された皆さまにインタビューをしました。

- | | | |
|---------------------|----------------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判を始めたきっかけは？ |
| ④：4種審判活動で印象に残っていること | ⑤：4種の審判をするうえで、気を付けていること、心掛けていること | |



①：佐藤 類(さとう るい)

②：約5年

③：「佐藤さん、審判の資格取ってくださいよ」

チーム関係者からのその一言が、すべての始まりでした。当初は、我が子が少年サッカーを始めたタイミングに合わせて、「チームの手伝いになれば」という軽い気持ちで足を踏み入れた審判の世界でした。

しかし、講習を受け、実際に笛を吹くうちに、その奥深さに気づかされます。

最初は子供のプレーを一番近くで見られる特等席だと思っていました。

しかし、そこはただの観客席ではなく、「公平性」という重責を背負う孤独なステージでした。

練習試合や公式戦での審判活動は、いつしか義務感を超え、少年サッカーの真髄に触れる探求の旅へと変わっていきました。

④：ちょうど1年前の公式戦で、その事件は起きました。副審を担当していた自分は、きわどいプレーに直面します。ディフェンスラインの裏へ抜けるスルーパス。

攻撃側の選手が飛び出す。(オフサイドか？いや、オンか……?)一瞬の迷い。脳裏をよぎる躊躇。

そのわずかなコンマ数秒の間に、フラッグを上げるタイミングを逸してしまいます。プレーはそのまま流れ、ネットが揺れました。ゴール。

湧き上がる歓声とは対照的に、自分の胸には鉛のような重苦しさが残ります。そして、試合後に失点されてしまったチームのベンチ前を通った時に、選手が通りすがりにポツリと呟きました。「……あれは、絶対オフサイドだったよな」その小さなつぶやきは、どんな怒号よりも鋭い口調でした。子供だからといって悔ってはいけない。

彼らは必死でボールを追っている。

その想いを、自分の一瞬の迷いが踏みにじってしまったのではないか——。

この苦い経験が、今でも忘れられません。

「迷いは最大の敵だ。たとえ際どい判定であっても、自信を持ってジャッジしなくてはならない」

ミスを恐れるのではなく、その瞬間に全神経を研ぎ澄ませ、堂々と判定を下すこと。その覚悟こそが、選手への誠意なのだと学びました。

⑤：「主役はあくまで選手。我々は黒子(ぐろこ)である」審判が目立ってはいけない。

目指すのは、空気のような存在。しかし、ただそこにいるだけではありません。公平なジャッジをベースに、選手たちが全力を出し切れる「環境」と「状況」を整えるこそが使命だと思います。

特に、感受性豊かな小学生たちを相手にする4種では、機械的なジャッジだけでは不十分です。まずは選手と「対話」します。

「さっきのプレー、良かったね！」

「後ろから押したら危ないよ、次は気をつけて」

「ワンタッチあるから、○○のボールだよ」

コミュニケーションという名の潤滑油を注ぐことで、ピッチ上の緊張感をポジティブな熱量へと変換していきます。

厳格さの中に宿る温かさ。それこそが、自分が目指す「グッド・レフェリング」の姿です。

- ①：高木 英之(たかぎ ひでゆき)
- ②：資格取得は2025/4月
- ③：息子二人がサッカーチームに所属したため
- ④：まだ経験がほぼない状態のため、毎回判断に自信がありません。
- ⑤：子どもたちに正しくルールを理解させて、楽しく試合をしてもらうこと、判定で混乱させないことを意識して取り組みたいと思います。



船橋市サッカー協会審判委員会では、コロナが流行して以降、実施できていなかった主に4種で審判をされている方に向けた審判実技研修会を再開し、4種で審判をされる審判員の実技の向上を図ることで、市内の子どもたちのサッカー環境を高めるための実技研修会の充実を図って参ります。

今回は、船橋市内の4種サッカーチームに実技研修会の案内をし、各チームより多くの審判員が参加いただきました。

また、船橋市の審判委員会では、月1回のレフェリートレーニングを開催しております。船橋市内の審判員に限らず、県内より参加いただける審判員の方についても大歓迎です。

今年度より、4種と合同での競技規則勉強会(web)の開催や中学生向けのルール勉強会等を開催し、ユース年代の審判員の発掘・育成にも力を入れています。

毎年3月には市内の小学生、中学生をターゲットとした4級新規取得講習会を開催し、その後も各学校でのルール勉強会の開催など市内での活動の場を確保しており、今年も高校生が3級を取得するなど活動の成果を実感しております。

(船橋市 審判委員会委員長 山田純也)





「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。

情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしています。

メールアドレス:cfarc.somu@gmail.com

永年表彰者募集のお知らせ

(公社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、2026年4月1日現在で20年間及び30年間審判活動を続けられた方の表彰を行います。

また2026年度より40年間及び50年に渡り審判活動を続けて、千葉県のサッカー発展のために寄与された方には、新たに特別賞を設けて表彰します。

表彰式は5月の審判委員会の前段もしくは後段で行う予定です。参加できる方はお願いします。

30年、40年、50年に該当する審判員の方(自薦他薦を問いません)は、2月22日(日)までに氏名、住所、電話番号、e-mailアドレス、登録年月、審判登録番号、活動状況を下記のメールアドレスまでお送りください。

(書式は問いません。メールにベタ打ちで結構です)



※なお、2026年度より20年表彰対象者はKICKOFFから抽出できますので、対象者には総務部より表彰についてご案内します。

※また、10年表彰対象者も例年通りKICKOFFシステムから抽出して、対象者に記念のトスコインの送付案内をする予定です。

表彰の詳細は以下となります。

- ☆ 50年特別表彰(1975年度以前に資格取得し、現在も活動している方)自薦他薦問わず募集
- ☆ 40年特別表彰(1985年度以前に資格取得し、現在も活動している方)自薦他薦問わず募集
- ☆ 30年永年表彰(1995年度以前に資格取得し、現在も活動している方)自薦他薦問わず募集
- ☆ 20年永年表彰(2005年度以前に資格取得し、現在も活動している方)KICKOFFから抽出し表彰を案内
- ☆ 10年永年表彰(2015年度以前に資格取得し、現在も活動している方)KICKOFFから抽出し表彰を案内

《連絡先》

e-mail : cfarc.somu@gmail.com (担当 長谷川)

～2025年度の審判資格更新について～

〈3級・4級 サッカー・フットサル審判員〉

審判委員会としましては今年度の審判資格の更新方法につきまして、「JFA ラーニング」を利用しての資格更新を推奨致します。

※2級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、KICKOFFメール等で案内しています。

- 〈JFA ラーニング〉
JFA KICKOFFにログインしていただき、
1、「画面左側の「審判」をクリック。
2、「講習会・研修会」をクリック。→「講習会・研修会申込み」を
クリック。
3、「更新講習会」を選択。
4、「検索」をクリックし「JFA ラーニング」を選択して下さい。



JFA ラーニングについては下記、URLを参照してください。

<http://els.jfa.or.jp/info/referee/invitation/html/>

受講完了で審判資格の更新が出来ますが受講には期限がありますので、お早めに受講下さい。

※「JFA ラーニング」の受講期限超過により受講完了されなかった場合や更新講習を受けられない場合は、
2025年度末で審判資格が失効となりますのでお気を付け下さい。

《休止・降級の方法について》

審判資格を休止したい方、2級から3級または3級から4級など降級を希望する方は、下記の手順で申請をしてください。

(1) 休止申請

- ① 更新講習会は、受講しないでください。
- ② 休止する理由(長期療養・長期海外出張・その他)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。

休止申請書の記載内容(書式はありません。タイトルを「休止申請届」として下さい。)

- a. JFAID
- b. 審判番号
- c. 氏名
- d. フリガナ
- e. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)
- f. 休止理由
- g. 休止期間
- h. 休止期間中の連絡先電話番号(必ずつながる電話)

- ③ 休止復活する際は、(公社)千葉県サッカー協会に電話連絡してください。

※休止期間は、最長2年までとなります。

(2) 降級申請

- ① 現在の級での更新講習会は、受講しないでください。
※更新講習会を受講されてしまった場合は、降級できません。
- ② 降級申請書(書式はありませんタイトルを「降級申請届」として下さい。)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。

降級申請書の記載内容

- a. JFAID
- b. 審判番号
- c. 氏名
- d. フリガナ
- e. 降級希望の級
 - 1級→2級、1級→3級、1級→4級
 - 2級→3級、2級→4級
 - 3級→4級

- f. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)

※降級申請した後で元の級に戻るには、現状の昇級審査が必要となります。

1級の方が4級に降級された場合は、3級の昇級審査に合格し、2級の昇級審査に合格し、
1級の昇級審査に合格いたしませんと元の級(1級)に復活できません。

(3) 申込方法

- ① 申込期間: **2026年2月20日まで**
- ② 申請書送付先

〒260-0013 千葉市中央区中央3-9-16 大樹生命千葉中央ビル1階

公益社団法人 千葉県サッカー協会 審判担当 宛

※不明な点がございましたら、直接(公社)千葉県サッカー協会 電話 043-310-4888 に
連絡してください。

広告主さま募集しています

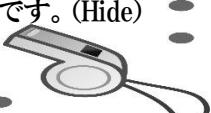
- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
 - ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
 - ・この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局(TEL [043-310-4888](tel:043-310-4888))にご連絡をお願いいたします。



編集後記

- 多くの3級昇級者が誕生し、県内の大会運営において明るい兆しが見えますね。
- 来年度も審判活動を行うために資格の更新を忘れずに！！
- 特に3級、4級の資格更新には、JFAラーニング(ネットでの更新)が推奨となっていますので、お早めに受講、更新を行ってください。

受講には期限があり、年度末ギリギリになってからだと受講できませんので注意です。(Hide)



長田 晃

E-mail : cfarcsomu@gmail.com



金子 秀之

高野 祐介

田口 雄一

中山 達良

長谷川 鉄哉

渕上 祥太

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

<https://chiba-fa.gr.jp/13judge/>



Facebookもチェック



[千葉県サッカー協会 審判委員会\(発信専用\) - ホーム | Facebook](#)

<https://www.facebook.com/ChibaFA.rc>